

科目名		デザイン演習2							年度	2024
英語科目名		Design Studio 2							学期	後期
学科・学年		マンガ・アニメーション科 アニメーションコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員		山田伸一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アニメーター		
【科目の目的】 前期に学んだアニメーション制作における基礎的知識の理解と技能を実践的に活用できるようになり、自分の作品に適用できるようになること										
【科目の概要】 アニメーション制作における基礎的な作画技法や作画のプロセスを学びます。										
【到達目標】 アニメの用語の意味を理解し、教員や友人とアニメ用語を適切に使った打ち合わせができるようになることを通して実践的なアニメ表現・演出ができるようになることが最終目標である。										
【授業の注意点】 参考となるデータを配布するほか、映像を用いて課題や用語の説明を行う時がある。授業中はメモを取ること、不明点はメモを見て思い出す癖をつけてほしい。積極的に質問し自主性を持って授業参加すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業・課題の進捗状況により講義内容を入れ替えることもある。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価		レベル5 優れている			レベル3 ふつう			レベル1 要努力		
到達目標 A		アニメーションの基本原理とアニメーション制作の基本的な技法について理解することで、アニメの制作過程と視覚的な効果を把握できます。			アニメーションの基本原理とアニメーション制作の基本的な技法について理解することができる			アニメーションの基本原理とアニメーション制作の基本的な技法について理解不足		
到達目標 B		アニメーション制作のプロセスについて理解し、制作に応用できる			アニメーション制作のプロセスについて理解できる			アニメーション制作のプロセスについて理解できていない		
到達目標 C		アニメーション多様なスタイルやジャンル、表現手法と演出手法を知ることができ、制作に活かせる			アニメーション多様なスタイルやジャンル、表現手法と演出手法を知ることができる			アニメーション多様なスタイルやジャンル、表現手法と演出手法について理解していない		
【教科書】 筆記用具、ノート、PC										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		デザイン演習2				年度	2024
英語表記		Design Studio 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	修了制作を進めるにあたっての注意点と授業の進め方について	修了制作の制作手順把握	1	制作手順把握	修了制作の進め方を理解した	3	
2	絵コンテ打ち合わせを通してコミュニケーションと計画性の重要性を理解する	コミュニケーションの重要性	1	打ち合わせ模擬演習	制作打ち合わせの手順を理解した	3	
3	絵コンテ撮影・レイアウト撮影を通して演出意図と構図をつかみ空間把握と演技プランの設計の重要性を理解する	空間把握と演技プラン設計	1	空間把握と演技プランの描写	演出と構図の伝え方を理解した	3	
4	絵コンテ撮影・レイアウト撮影を通してタイムシートの記入方法について学ぶ	絵コンテ撮をつくる	1	絵コンテ撮作成	絵コンテ撮の制作方法を理解した	3	
5	絵コンテ撮影の演出チェック、色彩設計・色指定を制作できる	色指定制作	1	色指定を制作	色指定の制作方法を理解できた	3	
6	中間講評会をして進捗と課題点と制作スケジュールの確認をする	中間講評会	1	中間講評を受ける	中間講評でスケジュールを再構成できた	3	
7	スキャン・仕上・撮影を通して運動と演技、質感のデジタル表現をつかむ	デジタル表現	1	質感表現をつける	質感のデジタル表現を制作できた	3	
8	スキャン・仕上・撮影を通して運動と軌道、タイミング、空間表現について学ぶ	空間表現	1	空間表現を学ぶ	アニメ制作の運動と軌道、タイミングを理解した	3	
9	スキャン・仕上・撮影を完了したカットの書き出しとプレビューができる	カットプレビュー	1	カットごとのプレビューを行う	カット書き出しとプレビューができた	3	
10	中間講評会（ラッシュチェック）をして進捗と課題点と制作スケジュールの確認をする	ラッシュチェック	1	ラッシュチェックを行う	中間講評で問題点を把握した	3	
11	スキャン・仕上・撮影の他、カメラワークやエフェクトの追加ができる	カメラワークとエフェクト追加	1	カメラワークとエフェクトを追加する	カメラワークやエフェクトが追加できた	3	
12	スキャン・仕上・撮影の他、カメラワークやエフェクトを加えた本撮、書き出しができる	本撮書き出し	1	本撮データ書き出し	本撮影ができた	3	
13	スキャン・仕上・撮影の他書き出し済みカットを編集し尺調整ができる	尺調整	1	尺調整を行う	尺調整ができた	3	
14	スキャン・仕上・撮影の他書き出し済みカットを編集し、音響調整や尺調整ができる	音響調整	1	音響を調整する	音響調整ができた	3	
15	必要カット全体をまとめて書き出し、納品ができる	納品提出	1	修了制作の納品提出を行う	一本化書き出しができた	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等